



柏の葉だより



市川市立第五中学校
第6号 令和5年10月3日

「学校教育目標」

学ぶ楽しさを知り 生きる喜びが分かる 心身ともにたくましい生徒の育成を目指す

2学期の学校

新型コロナウイルス感染症が5類感染症になりましたが、2学期より、学校現場でも新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの感染対策が必要な状況です。2学期のスタートがきられて1ヶ月が過ぎました。おかげ様で本校では大きな事故・学級閉鎖などもなく学校生活を過ごしています。ウイズコロナのもと、学校生活はなるべく教育効果を重視した活動ができるような検討を重ねています。しかし大勢の生徒が集団生活をする学校では依然、感染症予防対策の確認・徹底など、気を緩めることはできません。学校・学年全体で集まるなどの場面では、リモートなどを上手に活用して新しい形式で学校生活をしています。今後ともご家庭のご理解、ご協力をお願いいたします。



さて、今年度の城山祭は13日（金）、全体で行う予定です。しかし体育館に全校生徒を集めての形式を実施していくためには、感染症対策について入念な確認が必要です。また城山祭終了後の学校生活にも感染状況を注視しなければなりません。5日（木）から城山祭準備期間も始まり、クラスごとに団結した成果が合唱の歌声になってくれると思います。当日は進行をスムーズにするため、保護者の皆様の参観は在籍する学年の合唱のみに限らせていただきますが、時間をご都合していただき、ギャラリーから参観していただければと思います。

城山祭が終了すると3年生は三者面談が始まり、進路選択に向けて大切な時期になります。先月29日（金）には進路保護者会を実施し、実力テスト、進路希望調査と受験に向けた動きが本格化します。一人一台のタブレット、大型モニターを活用した授業展開・ドリルパークの活用などコロナ禍により推進された事業により、生徒たちの学習環境は数年前とは比較にならない程、変化・向上しています。20日（金）は令和5年度の折り返しで、前期の教育活動の状況をお知らせする『通知表』を配付します。3年生は進路を選択する大切な目安になります。

4月から半年、生徒たちはたくさんのお話を学びました。健康の大切さ。仲間を認め思いやること、自分自身をよく知り受け入れること。そして、自分を大切にすること。学習はやる気になれば、いつでも・どこでも・いくらでもできます。学校と家庭とが一緒になって励まし、子どもたちのやる気を引き出していきましょう。

令和5年度生徒会役員

9月25日（月）に生徒会役員選挙があり、10月からは生徒会役員も新しいメンバーになりました。2日のリモートによる全校集会で新生徒会役員一人ずつの自己紹介があり、後日校長室で一人ひとりに「委嘱状」を手渡す予定です。

感染症対策もあり、全校生徒が一同に集うことがなかなかできず、学校行事等もリモート、大型モニターを活用しての活動が今後も予想されます。今年度も校長室での任命式になってしまいますが、来年の9月下旬までの期間、学校のリーダーとして五中をより良い学校へと導いてくれることを期待しています。

令和5年度生徒会本部役員

会長	(2年3組)
副会長	(2年4組)
副会長	(1年6組)
書記	(2年1組)
書記	(1年6組)
会計	(2年2組)
会計	(1年3組)
会計監査	(2年1組)
会計監査	(1年1組)
広報	(1年5組)



五中 HP を
ご覧ください



今年も校長面接が始まりました

9月下旬より校長面接を昼休みや放課後の時間に行っています。

校長室での質問事項は、まず現在の志望校を確認し、その志望校にそって、①志望理由②志望校までの経路の確認③高校生活に期待すること④将来の夢・希望⑤中学校時代の思い出⑥最近の時事問題について等、入試面接を想定した質問の後、時間があれば、反省・助言などを行っています。まだ始まったばかりですが今年度の3年生は、クラス・部活動等での仲間とのつながり、かかわりで学んだことを生かし高校生活に大きな期待や希望を持つ生徒が多く見受けられました。面接という短い時間で、自分自身をどう表現できるか。コロナ禍の影響もあり人との関わり、自分を表現する機会が限られてしまった中学校生活。校長面接の機会を上手に活用して受験に生かしてくれることを期待します。

<文責・川俣>